学校番号	２１２

令和３年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	書Ⅰ（教育図書）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「漢字仮名交じりの書」の学習では、身近にある題材や自らの思いや感動を表す語句を選び、調和した線質や全体構成を工夫し、名筆を生かすことで意図に基づいた表現をする。

・「漢字の書」の学習では、さまざまな書風にふれることによって鑑賞と表現の能力を高め、それらを創作に生かしていく。

・「仮名の書」の学習では、古典に基づく表現技法を習得するとともに、主体的に創作に生かし、それらが日本の伝統に立脚していることを理解する。

・鑑賞の学習では、日常生活における書への関心を高めるとともに、書の伝統と文化についての理解を深める。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや、美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、書の基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用、文字及び書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	・学習活動への参加状況や態度 ・学習プリント ・創作プリント	・作品 ・学習プリント ・創作プリント	・作品	・学習活動への参加状況や態度 ・鑑賞プリント
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	**書へのいざない**							
	書写から書道へ	・中学校までの書写の学習を振り返る。 ・書写と書道の共通性と相違を理解し、書の世界を知る。	○			○	a:国語科書写と芸術科書道の関係、高等学校での書道の学習の意義に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。芸術としての「書」に関心を持ち、様々な書表現を理解しようとしている。 d:国語科書写と芸術科書道の関係、高等学校での書道の学習の意義を理解している。芸術としての「書」に関心を持ち、様々な書表現を理解している。	観察 学習プリント
	用具・用材 筆・墨・硯・紙について	・用具・用材の種類や性能を学ぶ。 ・用具・用材の製法を知る。	○	○	○	○	a:用具・用材に関する基本的な知識や用い方に関心を持ち、理解しようとしている。 b:用具・用材の用い方を工夫している。 c:用具・用材を的確に用いることができる。 d:用具・用材に関する基本的な知識や用い方を理解している。	観察
	姿勢・執筆法	・姿勢や執筆法の基本を理解する。	○	○	○	○	a:基本的な姿勢・執筆法を身につけようとしている。 b:基本的な姿勢・執筆法を身につけようと工夫している。 c:基本的な姿勢・執筆法を身に付けている。 d:基本的な姿勢・執筆法を理解している。	観察 作品
	書体の変遷	・書体の変遷について学ぶ。	○			○	a:書体の変遷に関心を持ち、理解しようとしている。 d:書体の変遷を理解している。	観察 学習プリント
	書の古典	・古典について知る	○			○	a:古典について理解しようとしている。 d: 古典について理解している。	観察 学習プリント
	漢字の書の世界							
	漢字の書の学習をはじめよう 書の古典と臨書	・古典の意義や拓本について学ぶ。	○			○	a:古典に基づく学習の意義に関心を持ち、理解しようとしている。 d: 古典に基づく学習の意義を理解している。	観察 学習プリント

1学期	行書の古典に学ぼう	・行書古典の臨書学習により、行書の特徴を踏まえ用筆法・運筆法を学ぶ。 「蘭亭序」 「風信帖」	○	○	○	○	a:様々な行書を鑑賞し、書風の違いについて感心を持ち、理解しようとしている。字形や用筆の特徴に関心を持っている。古典の書美と表現技法に感心を持ち意欲的に身に付けようとしている。 b:古典の字形や用筆などの特徴をつかみ、書風を生かした表現を工夫している。 c: 古典の字形や用筆などの特徴をつかみ、書風を生かした表現をすることができる。 d: 様々な行書を鑑賞し、書風の違いについて理解している。字形や用筆の特徴を理解している。古典の書美を理解し、表現技法を理解している。	観察 学習プリント 作品
	人と書	・王羲之について学ぶ。	○			○	a:人と書について理解しようとしている。 d:人と書について理解している。	観察 学習プリント
	漢字の書の作品制作 臨書から創作へ	・自ら語句を選び、学んだ行書の古典の特徴、表現方法を工夫し、作品を制作する。 ・作品を表装する。	○	○	○	○	a:漢字の書の創作に感心を持ち、意欲的に取り組んでいる。また、表装することにより作品がより美しく見せられることに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる b:書の構想を練りながら、作品のイメージを固め、推敲を重ねている。 c:漢字の書の創作の手順を踏み、自分らしい表現をすることができる。 d:漢字の書の創作の準備と手順を理解している。	観察 創作プリント 作品
	作品鑑賞	・・創作作品の相互鑑賞 ・古典や近現代の漢字の書の鑑賞 鑑賞し、感じたことを話し合い、自らの鑑賞力を深める。	○			○	a:書作品に関心を持ち、意欲的に鑑賞しようとしている。 d:書作品を鑑賞し、作品の持つ書のよさや美しさを創造的に味わっている。	観察 鑑賞プリント
	篆刻	・姓名印を刻し、創作作品に押印する。 ・落款と雅印の意義を知る。	○	○	○	○	a:篆刻に興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:書体の特徴を生かして、草稿、印稿、運刀などができるように工夫している。 c:篆刻の準備と手順について理解し、姓名印を刻すことができる。 d:篆刻の意義や手順を理解している。	観察 学習プリント 作品

2学期	コンクールに挑戦しよう	・行書・楷書の古典から各自が選択して、コンクール作品に取り組む。	○	○	○	○	a:コンクールの作品制作に意欲的に取り組んでいる。 b:各古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現を工夫している。 c:各古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現をすることができる。 d:書体や書風、字形や用筆の特徴を理解している。古典の書美とその表現技法を理解している。	観察 作品
	楷書の古典に学ぼう	・楷書古典の臨書学習により、基本的な点画や線質の表し方、用筆法・運筆法を学ぶ。 「牛橛造像記」 「九成宮醴泉銘」 「孔子廟堂碑」 など	○	○	○	○	a:様々な楷書を鑑賞し、書風の違いについて感心を持ち、理解しようとしている。字形や用筆の特徴に関心を持っている。古典の書美と表現技法に感心を持ち意欲的に身に付けようとしている。 b:古典の字形や用筆などの特徴をつかみ、書風を生かした表現を工夫している。 c: 古典の字形や用筆などの特徴をつかみ、書風を生かした表現をすることができる。 d: 様々な楷書を鑑賞し、書風の違いについて理解している。字形や用筆の特徴を理解している。古典の書美を理解し、表現技法を理解している。	観察 学習プリント 作品
	唐・太宗と初唐の三大家	・唐・太宗・初唐の三大家について学ぶ。	○			○	a:唐時代を代表する楷書古典について、理解を深めようとしている。初唐の三大家、唐の太宗、唐時代について意欲的に理解を深めようとしている。 d: 唐時代を代表する楷書古典について、理解を深めようとしている。唐の三大家、唐の太宗、唐時代について意欲的に理解を深めようとしている。	観察 学習プリント
	仮名の書の世界							
	仮名の成立	・仮名の成立と変遷、種類について学ぶ。	○			○	a:仮名の成立に関心を持ち、理解しようとしている。 d:仮名の成立を理解している。	観察 学習プリント
	仮名の書の学習をはじめよう	・仮名の書の筆使いに慣れ、基本用筆を習得する。	○	○	○	○	a:仮名の用具・用材や執筆、基本用筆に関心を持っている。 b:仮名の基本用筆において、紙へのあたりや回転のリズムを工夫している。 c:仮名の基本用筆において、紙へのあたりや回転のリズムに注意しながら書くことができる。 d:仮名の用具・用材、執筆法がわかり、基本用筆の特徴を理解している。	観察 作品

2学期	いろは歌	・仮名の基本用筆やリズムを生かし、単体を習得する。	○	○	○	○	a:平安時代の平仮名に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:仮名の基本用筆のリズムを生かして、仮名の単体を書くようにしている。 c:仮名の基本用筆のリズムを生かして、仮名の単体を書くことができる。 d:平安時代の平仮名の特徴を理解している。	観察 作品
	連綿	・仮名独特のリズミカルな運筆を学ぶ。	○	○	○	○	a:仮名のリズムをつかんで連綿を書こうとしている。 b: 仮名のリズムをつかんで連綿を書こうと工夫している。 c: 仮名のリズムをつかんで連綿を書くことができる。 d:仮名の書の重要な要素である連綿が、基本用筆の組み合わせで表現されていることを理解している。	観察 作品
	変体仮名	・変体仮名について学ぶ。	○	○	○	○	a:変体仮名に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:変体仮名を字源やくずし方を意識して書くようにしている。 c: 変体仮名を字源やくずし方を理解して書くことができる。 d: 変体仮名の字源やくずし方、作品制作上の効用などを理解している。	観察 作品
	仮名の書の古典に学ぼう	・仮名独特の流動美や構成の妙を学び、表現を深めていく。	○	○	○	○	a:古筆に関心を持ち、そのよさを感じ取ろうとしている。 b:古筆の持つ流動美や散らし書きによる構成の美しさをとらえ、余白を生かしながら書くようにしている。 c: 古筆の持つ流動美や散らし書きによる構成の美しさをとらえ、余白を生かしながら書くことができる。 d:流麗な筆線による連綿の美しさと、わが国特有の表現法である散らし書きを理解している。	観察 学習プリント 作品

2学期	仮名の書の作品制作	・自ら語句を選び、仮名の書の特徴を理解し、用具・用材や形式、構成などの表現方法を工夫し、作品を制作する。 ・作品を表装する。	○	○	○	○	a:仮名の書の創作に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:行の長短や高低、行間の広狭、紙面構成などを工夫している。 c:仮名の書の創作手順を踏み、自分らしい表現をすることができる。 d:仮名の書の創作の準備と手順を理解している。	観察 創作プリント 作品
	作品鑑賞	・創作作品の相互鑑賞 ・古筆や近現代の仮名の書の鑑賞 鑑賞し、感じたことを話し合い、自らの鑑賞力を深める	○			○	a:古筆や仮名の書作品に関心を持ち、意欲的に鑑賞しようとしている。 d:古筆や仮名の書作品を鑑賞し、作品の持つ書のよさや美しさを創造的に味わっている。	観察 鑑賞プリント
	生活の中の書	・年賀状	○	○	○	○	a:仮名の書で学習したことを生活の中に生かそうとしている。 b: 仮名の書で学習したことを生活の中に生かして書くようにしている。 c: 仮名の書で学習したことを生活の中に生かして書くことができる。 d: 仮名の書で学習したことを生活の中に生かす効用を理解している。	観察 作品
3学期	**漢字仮名交じりの書の世界**							
	・漢字仮名交じりの書の変遷 ・漢字仮名交じりの書の学習をはじめよう	・漢字仮名交じりの書について	○			○	a:漢字仮名交じりの書に関心を持ち、理解しようとしている。 d:漢字仮名交じりの書の世界を理解している。	観察 創作プリント
	古典に表現を学ぶ	・漢字や仮名の古典を生かした表現を工夫する。	○	○	○	○	a:古典に学び、漢字と仮名の書風や用筆を調和させて書こうとしている。 b:古典に学び、漢字と仮名の書風や用筆の調和を工夫している。 c: 古典に学び、漢字と仮名の書風や用筆を調和させて書くことができる。 d:古典を生かし、漢字と仮名を調和させる方法を理解している。	観察 作品

3学期	自分らしい表現を求めて 用具・用材の工夫	・用具・用材と表現の関係を考える。	○	○	○	○	a:用具・用材の特性を生かして、様々な表現を試みることに意欲的に取り組んでいる。 b: 用具・用材の特性を生かして、様々な表現を工夫している。 c: 用具・用材の特性を生かして、様々な表現を試みることができる。 d: 用具・用材の特性を生かして、様々な表現が可能なことを理解している。	観察 作品
	自分らしい表現を求めて 紙面構成の工夫	・文字と余白の関係を理解し、全体構成を考えた表現を身に付ける。	○	○	○	○	a:構成を工夫することに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:効果的に表現するため、行の長さや行間を工夫している。 c: 効果的に表現するため、行の長さや行間を工夫して表現することができる。 d:行の長さや行間を工夫することで、様々な構成ができることを理解している。	観察 作品
	作品制作	・自己の意図やねらいにあう作品を工夫して創作する。 ・相互批評をする。	○	○	○	○	a:漢字仮名交じりの書の創作に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:自分の中にある作品のイメージに表現を近づけるため、紙面構成や文字の造形などを様々に工夫している。 c: 自分の中にある作品のイメージに表現を近づけ、紙面構成や文字の造形などを様々に工夫して表現することでできる。 d:漢字仮名交じりの書の創作の準備と手順を理解している。書き上げた作品を互いに鑑賞し合い、意見交換をすることができる。	観察 創作ノート 作品
	作品鑑賞	・創作作品の相互鑑賞 ・近現代の作品の鑑賞 鑑賞し、感じたことを話し合い、自らの鑑賞力を深める	○			○	a:書作品に関心を持ち、意欲的に鑑賞しようとしている。 d:書作品を鑑賞し、作品の持つ書のよさや美しさを創造的に味わっている。	観察 鑑賞プリント
	生活の中の書	・身のまわりの書について考える。	○			○	a:身のまわりの書に関心を持っている。 d:生活の中で書が生かされていることを理解している。	観察 学習プリント

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。